

七曲り道の大岩

松尾寺の参詣道から七曲り道に入る辺りは、古来「立石」と呼ばれるところで、ここに巨大な石仏を思わせる大岩がある。

七曲り道は山田村から松尾山を越え、平群へと通じる道、生活道として、また松尾寺への信仰の道として古くから使われてきた。この道を歩く人は、この大岩を仏と見て手を合わせ、祈ったのだろう……と想像していたら、この岩は大雨で回りの土が落ちて露出したもので、それほど古いものではないと教えられた。

立石の名に由来する石は別にあるとも教えられた。

なるほどねえ、まあ、それはそれとして、昔はなかったかも知れないけど、今、この道を歩いてこの岩を見たら何か特別なものを感じるじゃないですか。そうでしょう、たぶん、百年経ったらこの大岩が立派な伝説になって「あの岩は、昔からこの七曲道歩く人が、仏の姿が宿している岩として尊び、大切にしてきた岩なんです」

とか、ガイドが喋っているんじゃないかと思うんですが、どうでしょう。

